

地区名 由利本荘市・にかほ市

所在地 にかほ市院内横根

バス駐車 ○ 大地のつくり

トイレ × **水のはたらき**

露頭までの道のり

由利本荘市から国道7号線をにかほ市に向かい、国道沿いの郵便局を左折する。そのまま直進すると左手に見えてくる会社の資材置き場が観察場所となる。

安全上の留意点

車の出入りがあり、社員の方々が利用しているので、礼儀・作法には十分留意させる。露頭をむやみに掘るのも避けたい。スケッチをする際の場所などは安全な場所を指定して行わせるとよい。

観察のポイント

- ①大きな地層の広がりを感じる。
- ②地層が奥まで続いていること。
- ③砂岩しか見あたらないこと。
- ④角の取れた丸い礫が見られること。

地質年代

新生代第四紀更新世(約80万年前頃)

解説

西目層と呼ばれるまだ固まっていない砂の層が見られ、中には角の取れた丸い礫がはさまっている。砂や円礫しかないことから「水のはたらき」でできた大地であることを判断できる。また、水の流れを記録したラミナも観察することができる。化石は発見できなかった。

円礫は、安山岩質のものが多く、近くの鳥海山由来のものではないかと考えられるが確かなことは不明である。露頭外観から色の違う層があるように見えるが、これは酸化したために色が赤茶けたところがあるのだと説明するとよい。

露頭概観

指導形式

A,B,C



露頭の前に立ってみると、地層の大きさや地層の広がりを感じることができる。



砂ばかりの層だが、場所によっては角の取れた丸い礫を見つけることができる。安山岩質の礫で鳥海山由来のものかもしれない。



侵食などにより崖が崩れ、露頭がカーブしているところがある。地層が奥まで続くことを考えさせることもできそうである。

